



石東中だより

合い言葉：石東中は未来の私の出発点

平成31年3月19日

発行者：練馬区立石神井東中学校

校長 堀井 安伸

「出会ったすべての人が人生の師！！」（第70回 卒業式式辞より）

校長 堀井 安伸

春の穏やかな日ざしの中、本区技監宮下泰昌様をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、厳粛に第70回の卒業式を挙げていただきました。

195名の卒業生全員が、健全にたくましく成長してくれました。これも、地域、保護者の皆様の暖かいご支援ご理解を賜と改めて感謝申し上げます。

卒業生一人一人が大きく成長してくれることを祈っています。

そこで、卒業式の校長式辞を紹介させていただきます。



平成30年度 第70回 卒業式 式辞（抜粋）

卒業生の皆さん、皆さんは、入学当初、学年の先生方の「**3年後に後輩から尊敬される先輩になって欲しい**」という思いから始まりました。そして、生徒が皆等しく立派な3年生になるよう、様々な取組を行ってきました。第一に、「**なすことによって学ぶ**」特別活動です。自分たちの課題を自分たちで話し合っ解決していく姿勢を大切にしてきました。「自分たちの学校生活を自分たちで創っていく」という思いは、学級委員を中心に学年全体へと広がり、様々な行事に全員が協力してよりよいものを創ってきました。第二に、「**主体的・対話的で深い学び**」です。主体性を通して学ぶ姿勢を大切にしてきました。数学や道徳では『学び合い』を行い、「**一人も見捨てない**」という思いを大切に仲間と学びを深めていきました。その他の教科でも、協同を丁寧に行いました。第三に、新たな伝統を築いたことです。男女混成の連合ダンス出場、3年生と下級生がともに活動する異学年交流、マイク無し朝礼など、これまでは無かった取組を多数行ってきました。このようにして、皆さんは多くの経験を積み、「**後輩から尊敬される先輩**」へと成長できたと実感しています。後輩たちにとって本当に素敵な先輩へと育ててくれました。さて、本日をもって中学校の全課程を終了します。9年間の義務教育の課程をすべて終了しました。これからは、**それぞれが選んだ「未来の私」へ向けて出発します**。その新しい門出に当たって、はなむけの言葉と、皆さんに心がけてほしいことを話します。

論語の話です。論語とは、千四百年ごろ前の中国で三千人の弟子がいた、高い人間性に加え強いリーダーシップ備え多くの人を導いた孔子という人の言葉や考え方をまとめたものです。現代の日本でも多くの人に影響を与えています。その論語に次のような内容があります。

時代が変わり世の中は乱れてしまったが、人々の中にはまだ、偉大な二人の王、文王や武王の示した道が何らかの形で残っていると孔子は信じていた。故にこれまで出会った人々から、

何らかの形でその教えを学んでこれた。特定の人を師とせず、出会ったすべての人を人生の師とするという考え方は、現代でも十分に通用します。例えば、とても示唆に富む人の話を聞いた人が「ためになる」と言い、ある人は「つまらない」といった。ためになると言った人は、その人を師として何かを学んだわけです。ではつまらないと言った人の場合はどうでしょうか。つまらないと言った理由は三つ考えられます。一、その話がすでに知っていた内容である場合、二、そもそも話を聞こうとする気持ちがない場合、三、聞く気持ちはあるのに、話の内容を理解する力がない場合です。そして二と三が理由の場合からわかることが二つあります。一、他者を師とするか否かは、話を聞く側の心構え次第であるということです。豊かな内容を話す人が身近にいても、聞く側に理解しようとする気がなければそれはつまらない話でしかない。二、聞く側が受け身のままではいけないということです。話が自分の理解を超えているなら、相手にそれを聞けば良い。あるいは勉強して、時間をかけて理解すれば良い。豊かな内容の話もわからないからつまらないと思うのです。**人生の師に出会えるかは、自分の心構え次第です。つまらないと思うのは自分のせいだと気づくべきだと言うことです。**（週間教育資料）

皆さんのこれから進む道は、楽しい事や心地よいことばかりではありません。待ち受けているであろう多くの困難や挫折、逆境を乗り越えて行かなければなりません。そのとき、自分を正しい方向に導いてくれる人が必要になることがあります。ぜひ、この論語のように**出会ったすべての人を人生の師とするという考え方にたち、困難や失敗に柔軟に適応する「折れない心」を持って、夢の実現に向けて、果敢に挑戦してください。**人まねをせず、自分を信じ、大きく世界を目指して飛躍して欲しいのです。そして、皆さん一人一人にとっての夢の実現が、他の人々の、幸福に貢献することにもつながって欲しいと願っています。

※ご意見をお寄せください。03-3996-2158(校長室直通)※

ホームページ：<http://www.shakujii-e-j.nerima-tyky.ed.jp/>



主な行事の紹介

●スキー移動教室(2年)<2月19日(火)~22日(金)>

2年生が、長野県にある練馬区立軽井沢少年自然の家(湯の丸スキー場)で「スキー移動教室」を行いました。実行委員が考案したスローガン「敬意を示し、友情を深めながら、熱意を持って取り組もう」を達成するために、スキー実習と宿舎での生活を送りました。

様々な予定の変更などもありましたが、臨機応変に対応することができました。終了後の感想文でも、充実した活動になった様子が感じられる4日間となりました。

<生徒感想>

私は、スキー教室を終えて、「集団行動の大切さ」を改めて感じた。スキー教室では学校生活とは違って、普段より集団で行動することが多い。そのため、他の人のことを考えて行動したり、片付ける時などは協力をして動いたりしなければいけない。また、そのときにまとめる人や声をかけたりする人がいることで、素早く行動することができた。これは、学校生活でも同じことだと思う。そして、その役割を班長や学級委員だけでなく、気がついた人ができるようになれば、もっと良いと思う。自分もこれからは注意できるようにしていきたい。また、もうすぐ最上級生になるということに自覚し、頑張れるようにしたい。(2年男子)



●もちつき大会(1年)<2月22日(金)>

谷原もちつき保存会(地域の協力者)、PTAの方々のご協力により、恒例の1年生もちつき大会が開かれました。

1年生の学級・給食・美化の各委員の生徒も前日から米とぎなどの準備を手伝いました。

たくさんの方々のご協力、本当にありがとうございました。



●学校評議員会<2月25日(火)>

学校評議員会とは、学校が地域の方々の信頼に応え、家庭や地域社会と連携協力し地域に開かれた学校づくりを推進していくため、保護者や地域の方々の意向を把握・反映し、協力を得るために設置しています。2月の学校評議員会では、今年度の教育活動について、生徒・保護者がそれぞれ記入したアンケート結果の分析と検討を行いました。例年と比較して、学習活動に関する記述が多く、授業への期待度の大きさについてご意見をいただきました。他にも、部活指導やいのちの講演会等の話で、2時間の会議時間があっという間に過ぎてしまいました。学校評議員会でいただいたご意見を参考にして、来年度の学校運営をさらに充実させ、開かれた学校づくりを目指してまいります。

●3年生を送る会<3月14日(木)>

1年生・2年生からは、感謝の気持ちを込めて全員で作成した寄せ書きの模造紙が贈られました。3年生からはお礼として、後輩へメッセージカードを一人一人に手渡しで渡しました。3学年で集う貴重な機会となり、終始温かい雰囲気で行われました。



●校外学習(3年)<3月5日(火)>



3年間の校外学習の集大成として、横浜校外学習が行われました。

午前中は班ごとに「ウォークラリー」を行い、地図を頼りにチェックポイント

をまわりました。チェックポイントごとに問題が設定されており、時間制限もある中、高得点を目指して各班が楽しく横浜を巡りました。午後は元町・中華街を中心に自由散策を行い、卒業前のよい思い出づくりになりました。

部活動等の報告

●女子バスケットボール部

〔研修大会〕

対 関中 O34-6 対 豊玉中 O30-14
対 石神井中 O34-29 対 開進二中 O49-17
〔ミューラー杯(八雲学園高校カップ)〕
対 福栄中(千葉) ●36-70

●吹奏楽部〔スプリングコンサート〕

日時：3/16(土) 10:30~

場所：本校武道場

●女子バレーボール部〔1年生大会〕

対 上石神井中 O2-0
対 関中 O2-0
対 豊玉二中 O2-0

来年度の予定

8日(月) 始業式
9日(火) 入学式
10日(水) 新入生歓迎会・身体計測(3年)
11日(木) 身体計測(1, 2年)
12日(金) 授業参観・保護者会
17日(火) 腎臓病検査一次①

18日(水) 全国学力・学習状況調査(3年)
内科検診(1, 2年)
19日(金) 食育の日 証明写真撮影 避難訓練
22日(月) 認証式
25日(木) 内科検診(2, 3年)
26日(金) 腎臓病検査一次② 離任式
27日(土) ~5/6(月) 休業日